

設立60周年記念事業 令和3年度富山県スポーツ推進委員研修会 報告書

- 1 期 日 令和3年12月12日（日）9：20～13：00
- 2 会 場 富山市八尾コミュニティセンター
- 3 参加者 209名（県内スポーツ推進委員・市町村生涯スポーツ担当者）

4 開会式

- (1) 開会
- (2) 開会の挨拶 富山県スポーツ推進委員協議会 会長 廣瀬 孝作
- (3) 歓迎の言葉 富山市長 藤井 裕久
- (4) 講師紹介 富山福祉短期大学幼児教育学科 准教授 小川 耕平
- (5) 閉会

5 表彰式

- (1) 文部科学大臣表彰（2名）
- (2) 全国スポーツ推進委員連合表彰
 - ①スポーツ推進委員功労者（4名）
 - ②30年勤続スポーツ推進委員（8名）
 - ③賛助会員感謝状（4名）
- (3) 中ブロックスポーツ推進委員連絡協議会表彰（3名）
- (4) 北陸地区スポーツ推進委員協議会表彰（9名）
- (5) 富山県スポーツ功労者表彰（勤続10年）（86名）

6 講演

演題 「生涯スポーツを考える～スポーツとの出会いと実践～」

講師 小川 耕平 氏（富山福祉短期大学幼児教育学科 准教授）

普段の生活や健康、学力等に対してスポーツが与える影響や生涯スポーツの推進に必要なこと等、小川先生の実体験や事業の取り組みを交えながら、運動やスポーツの大切さについてご講演いただいた。

運動やスポーツをすることで与える影響

- ・生活の充実度、生活の質の向上につながる。
- ・ストレス解消、気分転換につながる。
- ・ダイエット効果がある。
- ・学力の向上につながる。
- ・病気の予防につながるため、医療費を抑制できる。

生涯スポーツ推進のために

・現在のスポーツ特性は競技志向や勝利至上主義となっており、間違った運動指導により子どもの運動嫌いや体力低下を招いているが、生涯スポーツを推進していくためには、幼少期から身体活動や運動習慣を身につけることが重要であり、スポーツの原点「あそび」を行うことが大切である。エンジョイスportsへの取り組みとして、運動やスポーツを「気晴らし・遊び・楽しみ・休養」と考えることで、運動やスポーツを楽しんでいる子どもが増える。また、体の発育・発達には個人差があるため、他の子どもと比較しないで、それぞれに応じた運動（あそび・スポーツ）を行うことが大切である。

スポーツ普及のためには、スポーツの魅力や効果をより多くの方に伝えることが重要であることからスポーツ推進委員として各地域住民の方に、積極的にスポーツの魅力を伝えてほしい。

7 実技研修

種目「年齢に応じたスポーツ実践」

講師 小川 耕平 氏（富山福祉短期大学幼児教育学科 准教授）

子どもやお年寄り等の運動能力や年齢に応じた運動方法をご紹介いただいた。キリン歩きやペンギン歩き等の動物歩きの運動では、手足の動かし方を楽しみながら身につけることができ、また、脳を使いながら体を動かす運動では、認知症予防につなげることができる等、様々な場面で活用できる動きや運動を学ぶことができた。

講演の内容と関連のある実技研修であり、参加者が楽しみながら取り組む姿が見られる等、それぞれの運動の効果やスポーツの魅力を実感することができた。

8 閉会式

(1) 開会

(2) 閉会の挨拶 富山県スポーツ推進委員協議会 副会長 中山 賢一

(3) 閉会

9 その他

各市町村にて参加者の「健康チェックシート」の回収及び「健康観察」「検温」を実施し、受付は代表者1人（市町村事務局）が行うことで密集を避けるとともに、会場は各市町村で指定席とし、できるだけ他市町村の参加者との接触を避ける等、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しながら実施した。